

競技注意事項

1. 本大会は、2016年日本陸上競技連盟競技規則ならびに本大会申し合せ事項によって実施する。
2. ナンバーカードについて
 - ・100m～400mおよびフィールド種目は、都道府県陸協登録のナンバーカードを使用する。腰ナンバーカードは、受付時に配布する。
 - ・1500m以上の長距離種目は、別ナンバーカードを使用する。別ナンバーカード・腰ナンバーカードは、受付時に配布する。
- ※ 別ナンバーカード・腰ナンバーカードは、ゴール後、競技者係に返却すること。
3. 受付・招集は下記のとおりとする。
 - ・招集場所は、メインスタンド下、100mスタート側の砂場付近とする。
 - ・受付・招集に関する時間は、その競技の開始時刻を基準とし、下記のとおりとする。

	招集開始時刻	スタート締切時刻	招集完了時刻
トラック競技	受付時	30分前	現地 10分前
フィールド競技	受付時	60分前	現地 30分前

4. トラック競技について
 - ・予選のレーンはプログラム記載の番号順とする。
 - ・全てタイムレースとし決勝は行わない。
 - ・棄権者が多い場合は、組み換えを行い、スタート時間を繰り上げることがある。
5. フィールド競技について
 - ・フィールド競技の試技は、プログラム記載順とする。
 - ・試技の回数は、3回とする。
 - ・跳躍競技の競技者のナンバーカードは、背または胸につけるだけでもよい。
6. 走高跳のバーの上げ方は下記のとおりとする。

	男子	女子
練習	1.50-60-70-80-90	1.30-35-40-45-50
試合	1.50-60-70-75-80-85- 90-95-2.00-05	1.30-35-40-45-50-55- 60-65-70-75

※上記以外の高さについては、協議のうえ審判長が決定する。

7. 競技用器具について

競技用器具は、競技場備付けのものを使用する。
但し、やりについては各人所有のものを検査のうえ使用できる。
なお、検査は競技開始1時間前に、ゴール寄りの器具庫前で行う。
8. その他
 - ・全天候トラックにつき、使用するスパイクのピンの長さは9mm以下、フィールド競技は13mm以下を使用すること。
 - ・競技会開催中の事故については、一切の責任は負わない。

以上